

問 10 市全般に関することについておうかがいします。

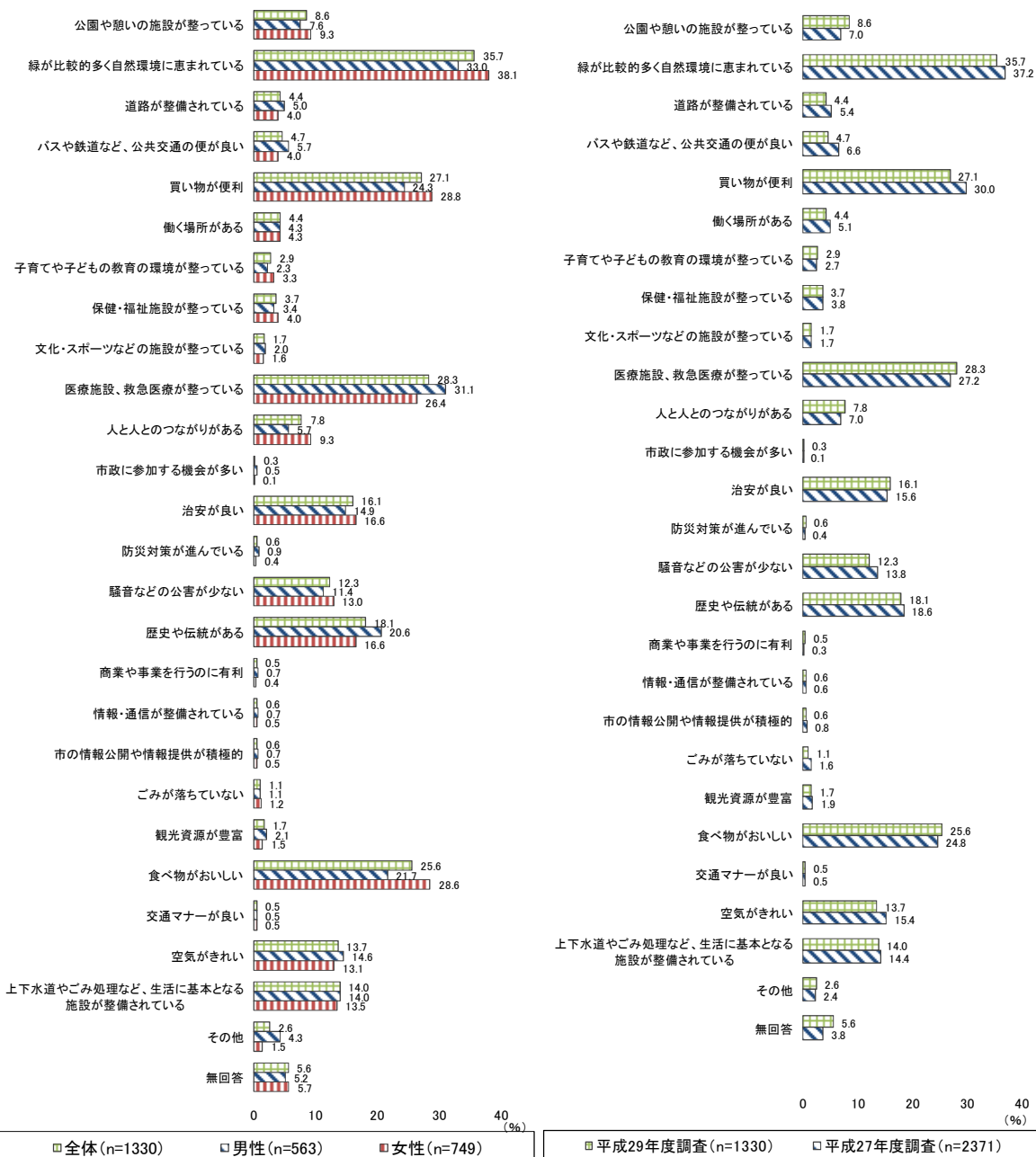
(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.7%と最も高く、ついで「医療施設、救急医療が整っている」が28.3%、「買い物便利」が27.1%となっている。

性別にみると、女性では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「買い物便利」「食べ物がおいしい」が男性よりも比較的高くなっており、一方で男性では「医療施設、救急医療が整っている」「歴史や伝統がある」が女性よりも高くなっている。

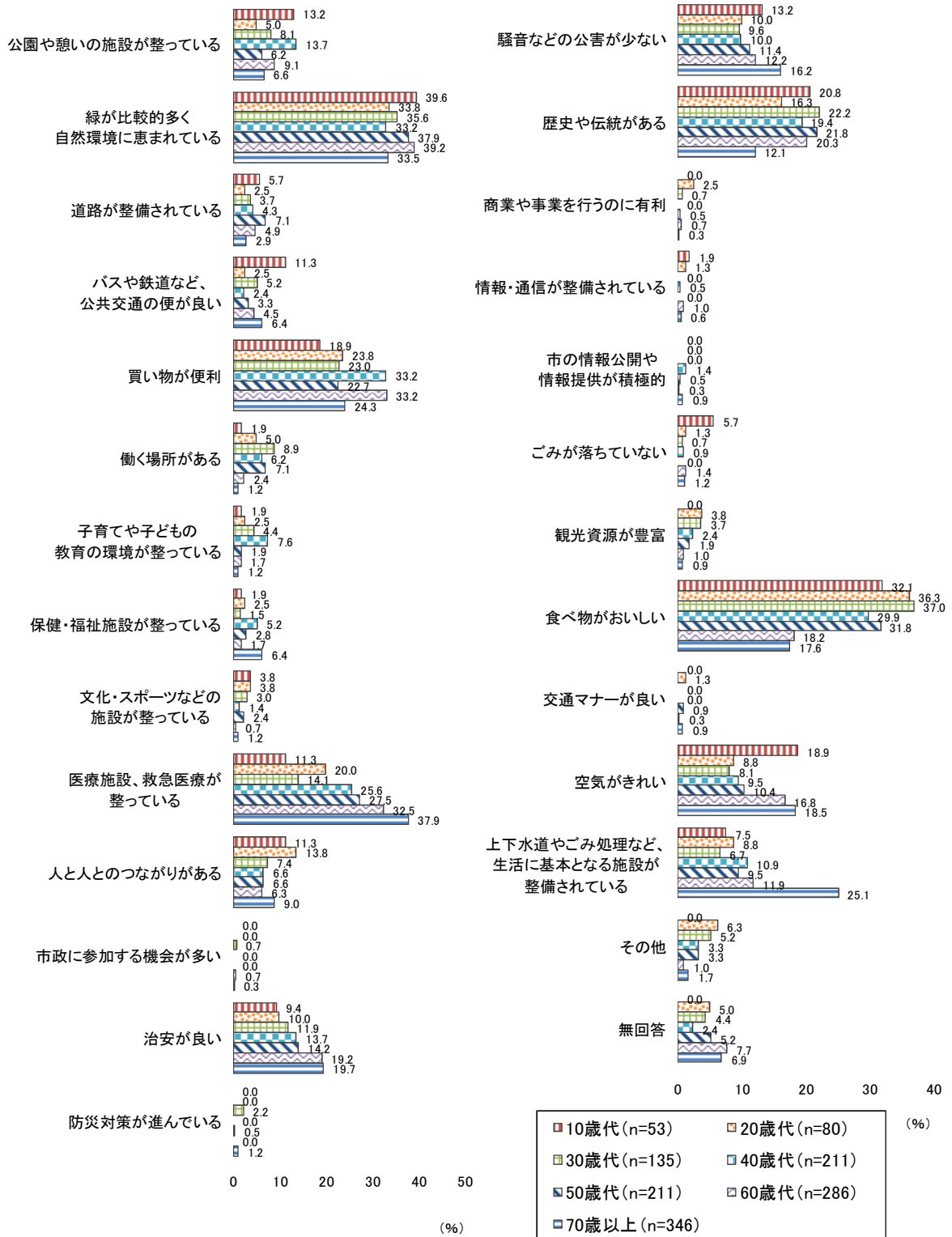
前回調査と比較すると、「公園や憩いの施設が整っている」が若干増加したが、「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」「買い物便利」「空気がきれい」等の割合が減少している。

問10(1) 松阪市の良いところ



年代別にみると、年代が上がるごとに「医療施設、救急医療が整っている」「治安が良い」の割合が増加している。また、20歳代から30歳代では「食べ物がおいしい」が3割半ばと高くなっている。

問10(1) 松阪市の良いところ



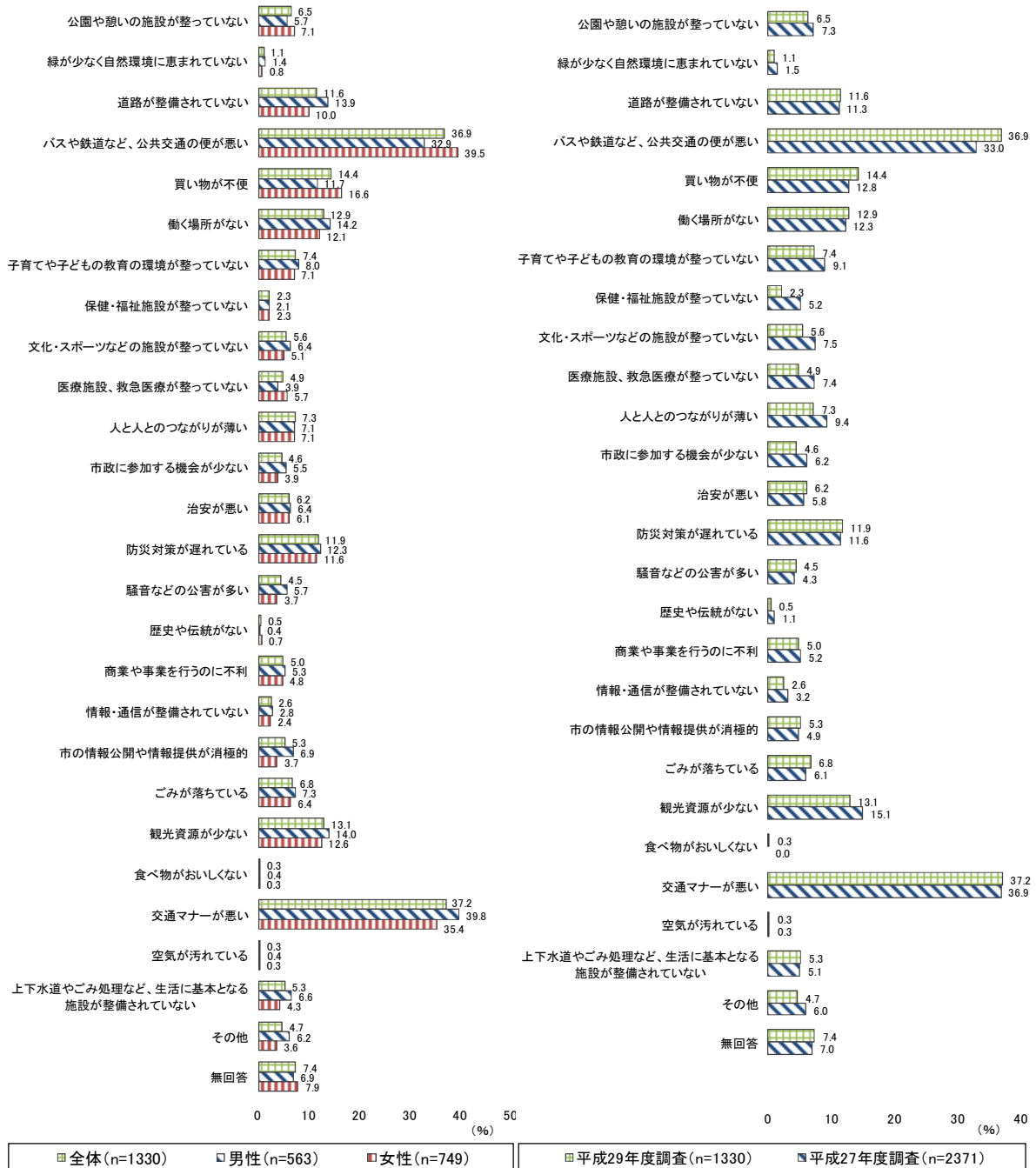
(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「交通マナーが悪い」が37.2%と最も高く、ついで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が36.9%、「買い物不便」が14.4%となっている。

性別にみると、男性では「道路が整備されていない」「市の情報公開や情報提供が消極的」「交通マナーが悪い」が女性よりも高くなっている。一方で女性では、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」「買い物不便」が男性よりも高くなっている。

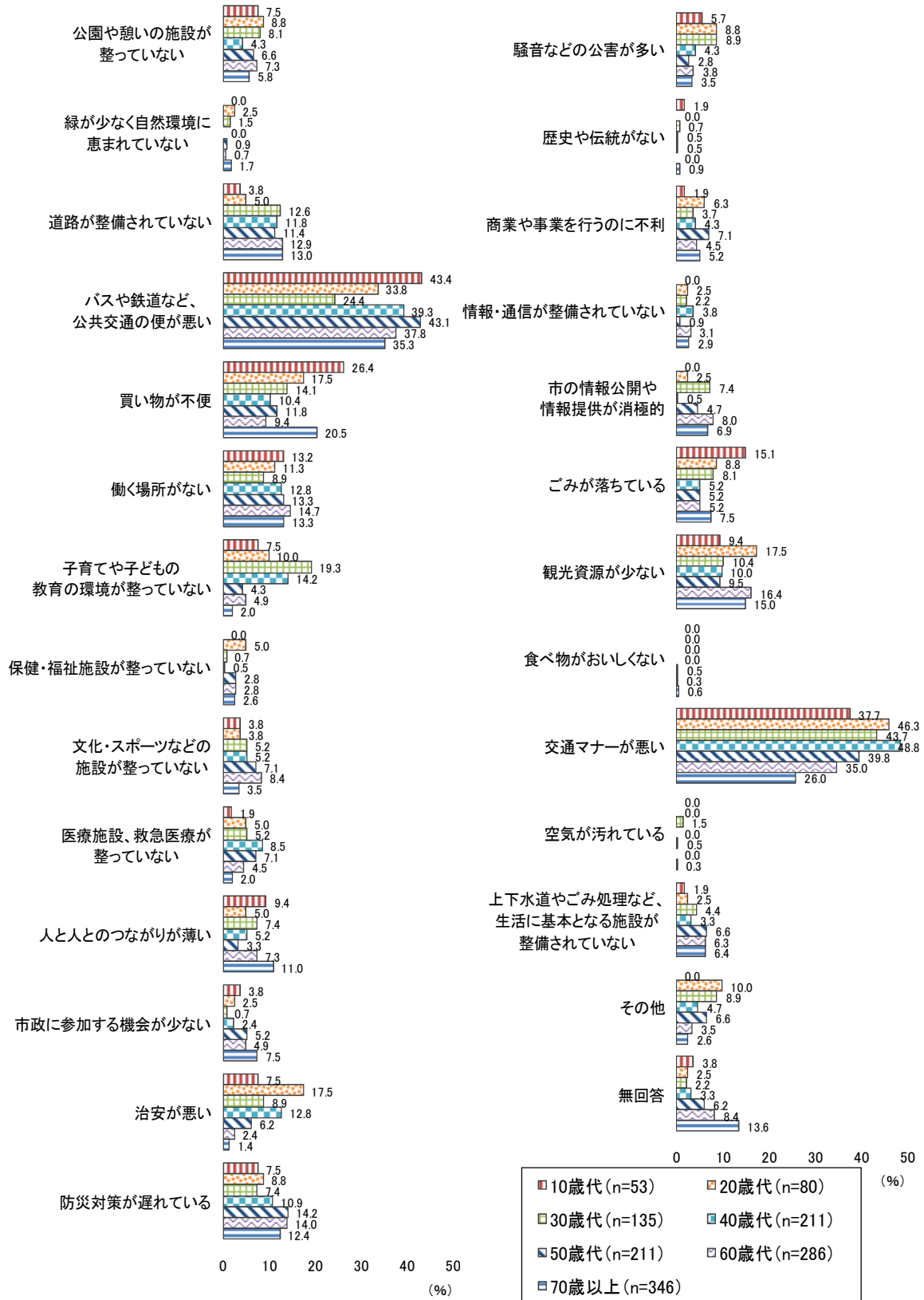
前回調査と比較すると、「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が増加している。一方で施設などハード面を指摘する割合は減少している。

問10(2) 松阪市の良くないところ



年代別にみると、10歳代と70歳以上で「買い物不便」が高く、いずれも2割を超えている。

問10(2) 松阪市の良くないところ

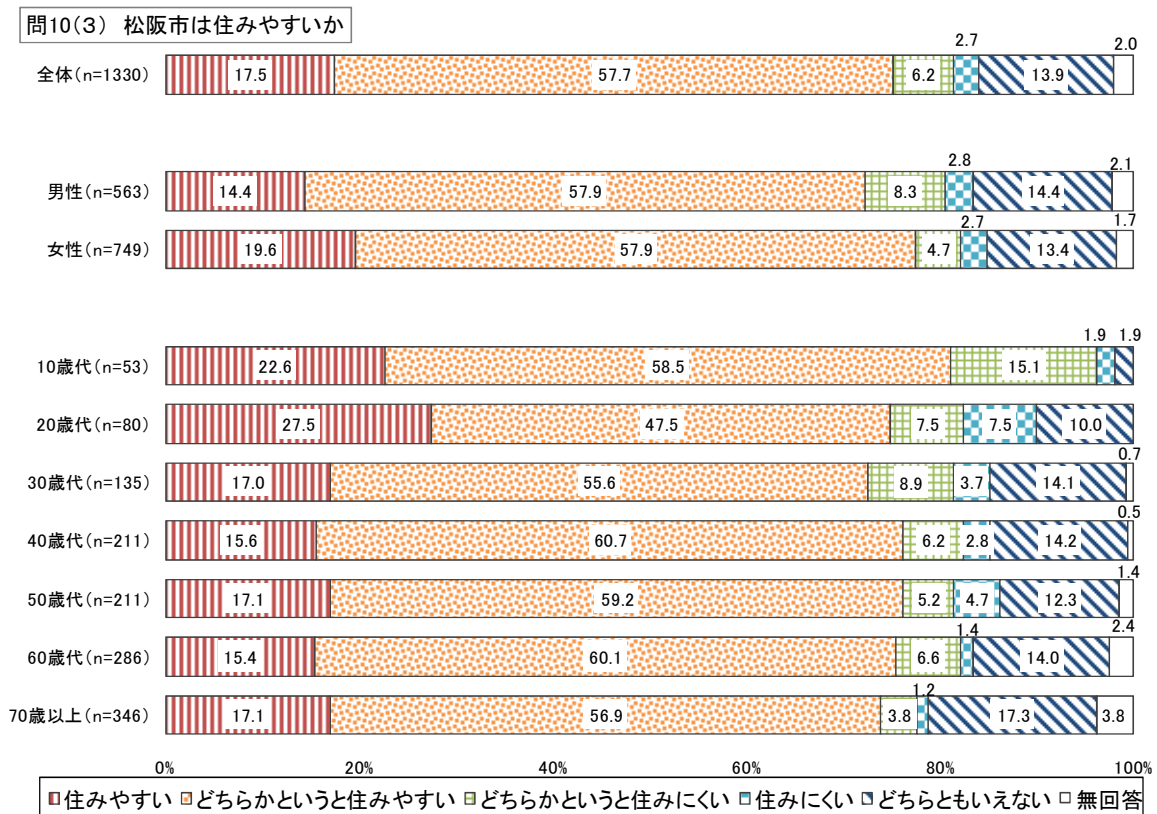


(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)

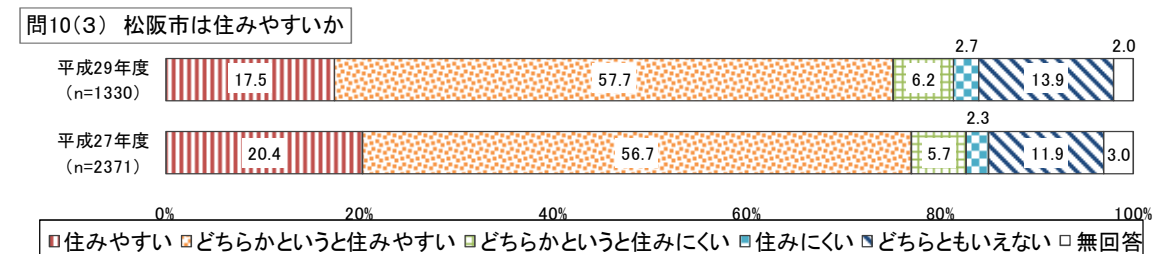
「どちらかというに住みやすい」が57.7%と最も高く、ついで「住みやすい」が17.5%、「どちらともいえない」が13.9%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」が高くなっているが、女性の方が男性よりも5ポイント程度「住みやすい」の割合が高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が半数以上となっているが、10歳代が81.1%で最も高くなっている。



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が減少している一方で、「どちらかというに住みにくい」「住みにくい」が増加している。

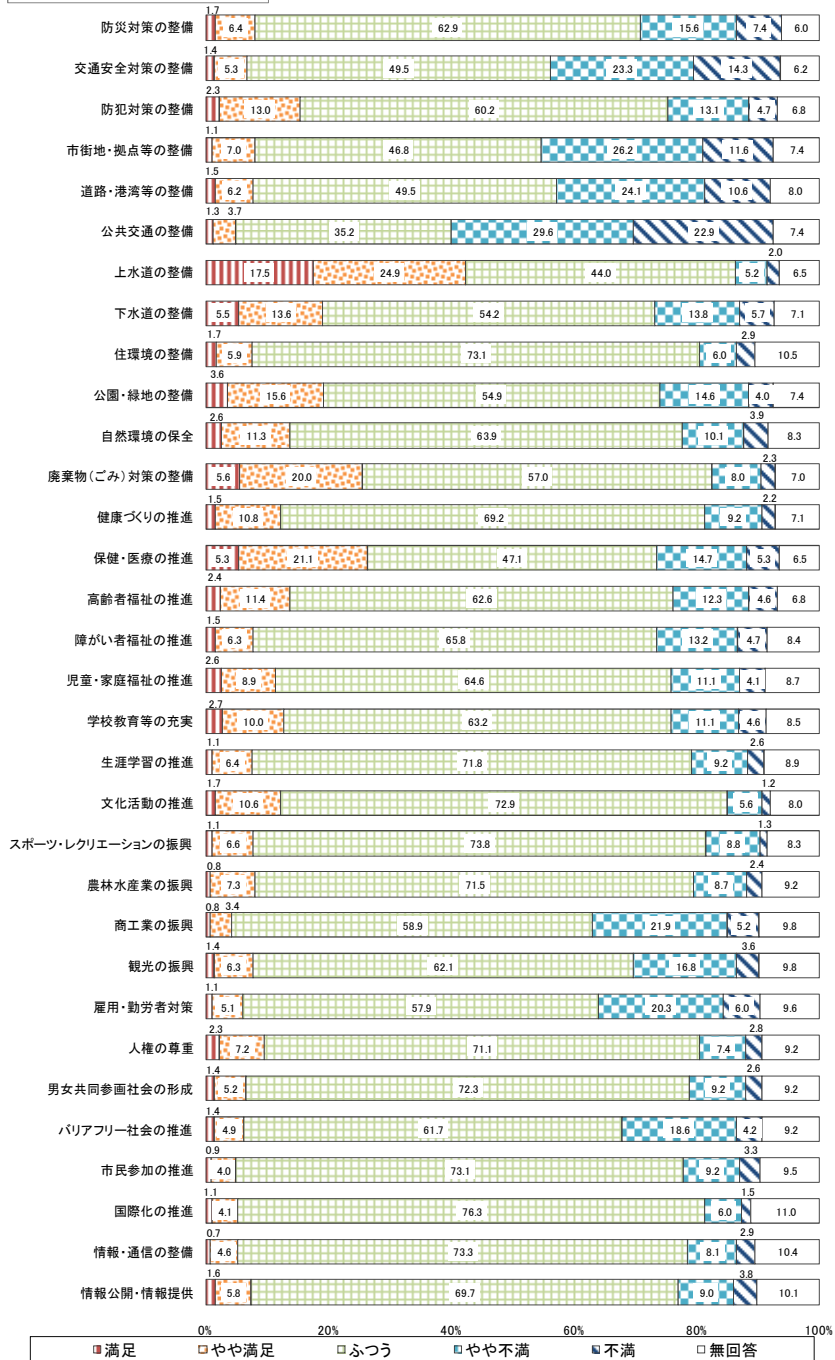


問 11 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

(1) 満足度

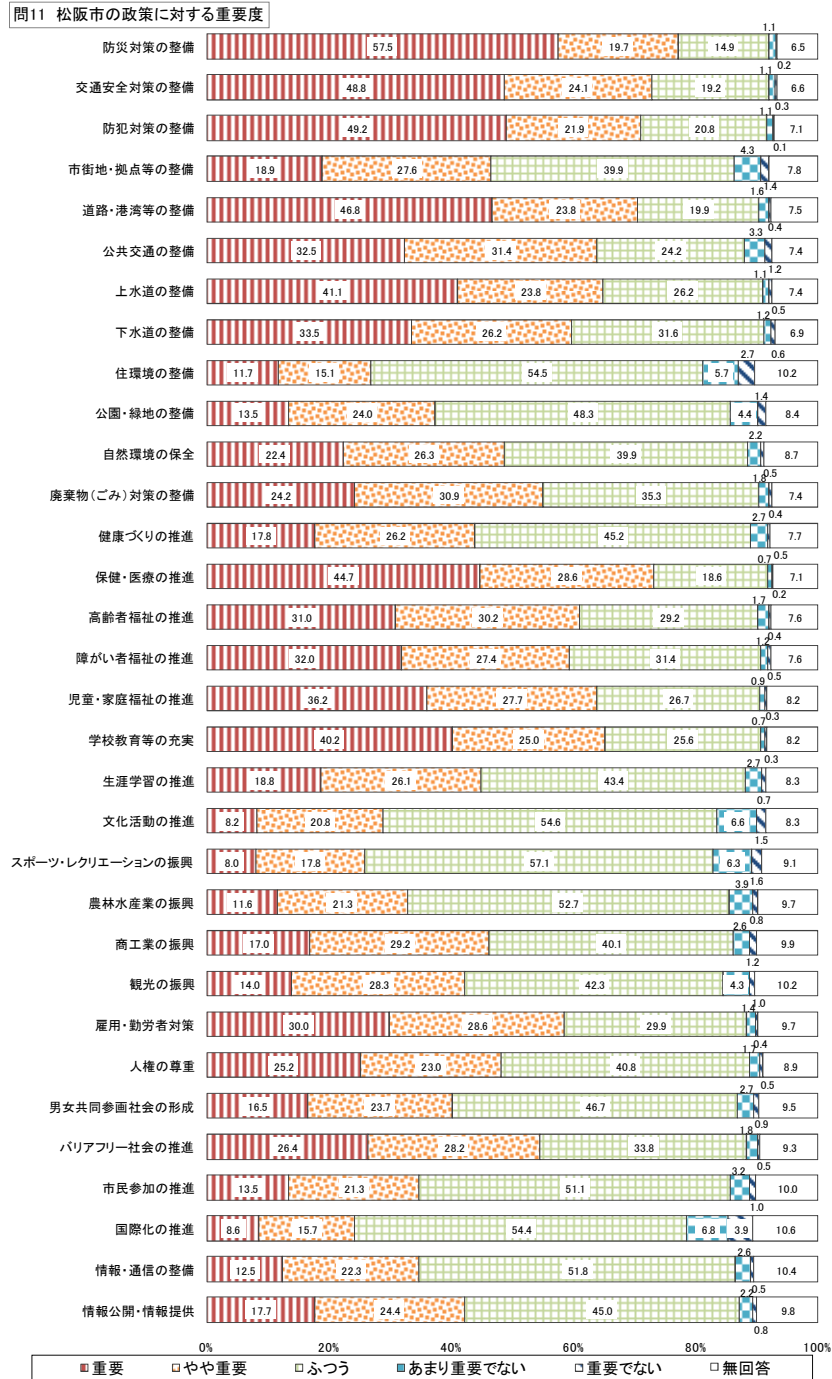
満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く、42.4%となっているほか、「保健・医療の推進」が26.4%、「廃棄物(ごみ)対策の整備」が25.6%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の整備」が52.5%、「市街地・拠点等の整備」が37.8%、「交通安全対策の整備」が37.6%となっている。

問11 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「防災対策の整備」が77.2%、「保健医療の推進」が73.3%、「交通安全対策の整備」が72.9%となっている。



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

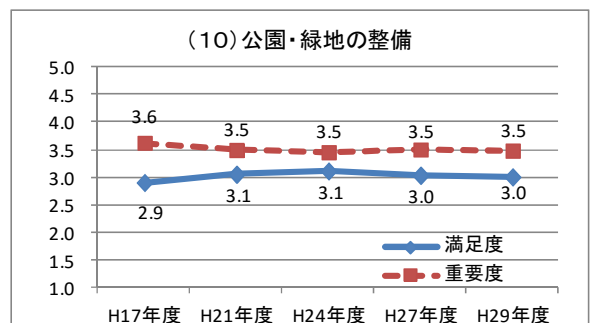
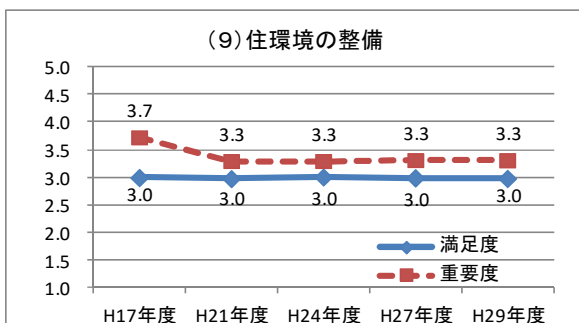
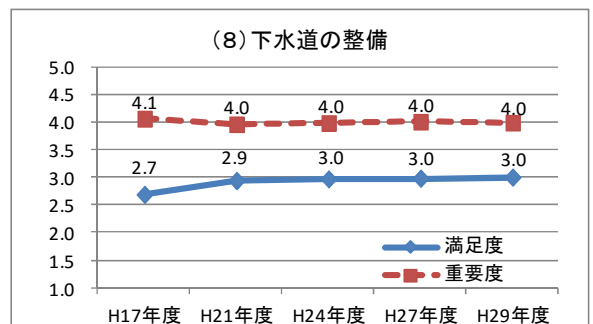
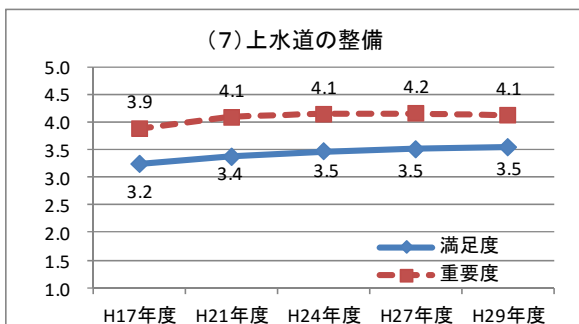
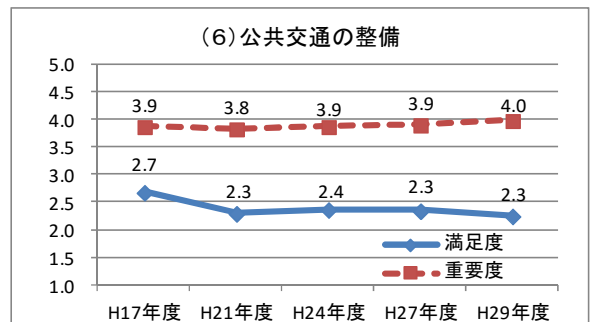
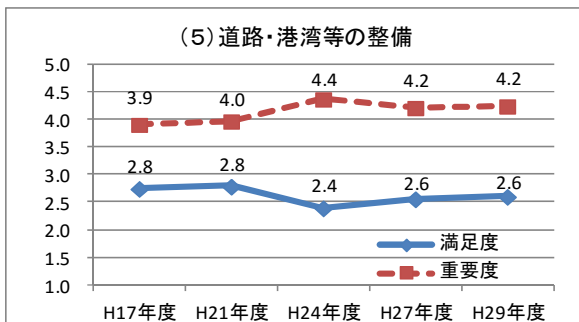
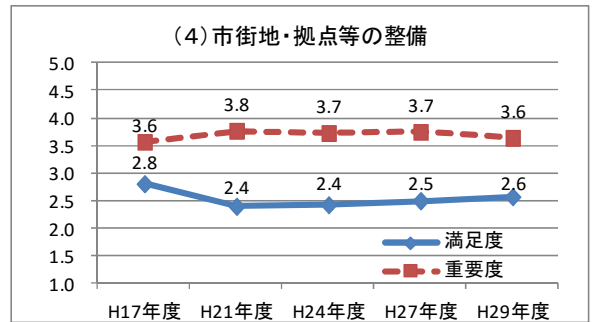
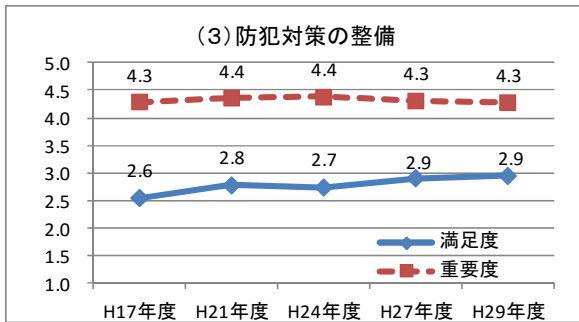
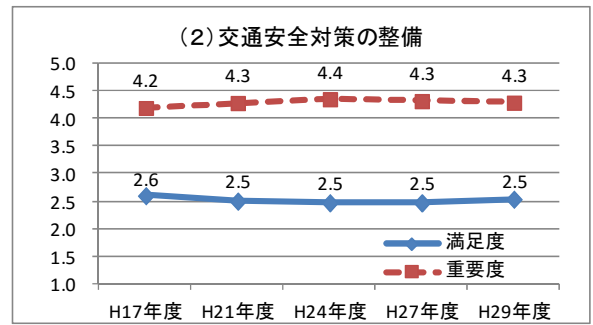
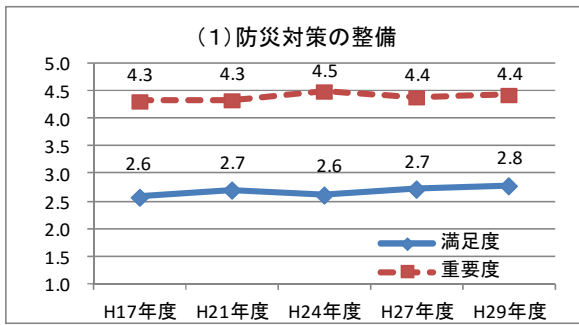
《評価得点の算出式》

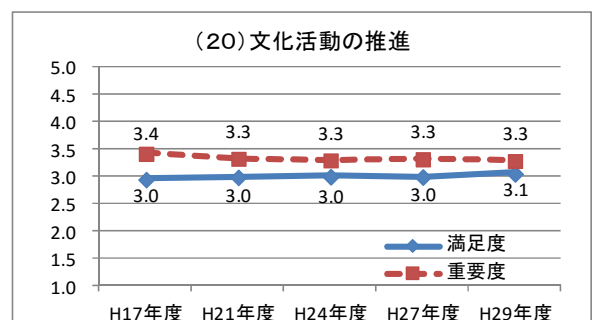
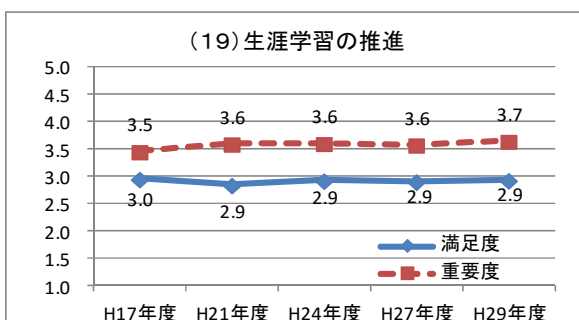
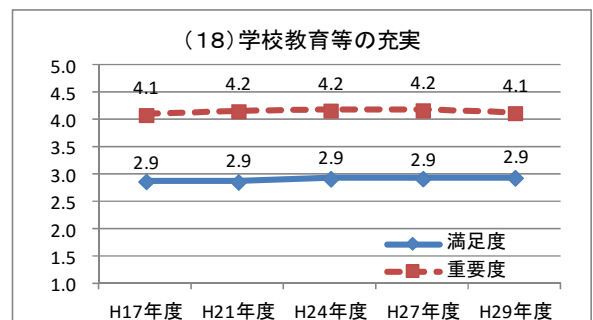
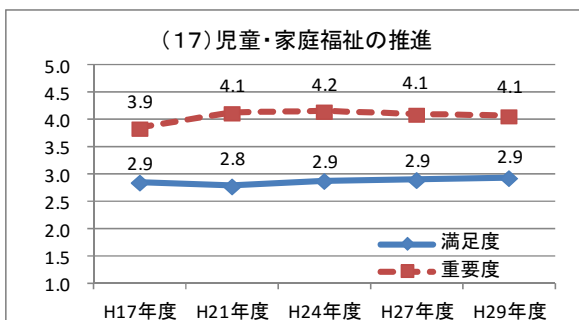
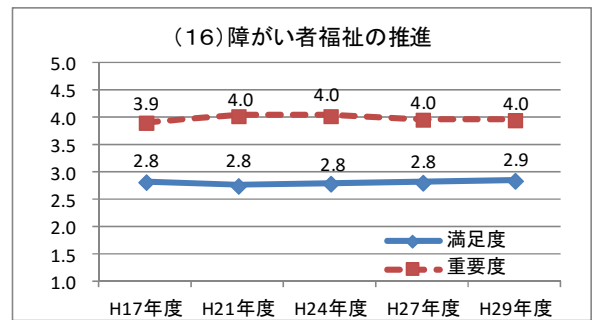
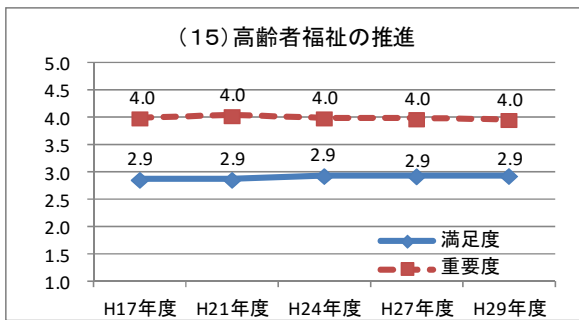
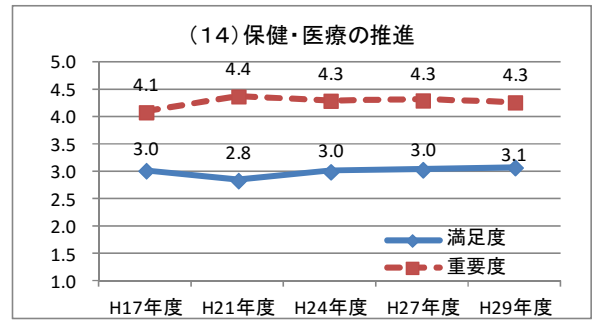
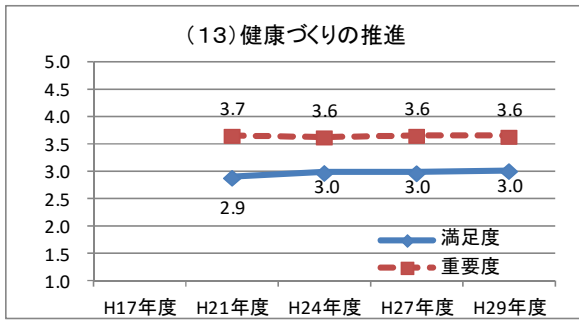
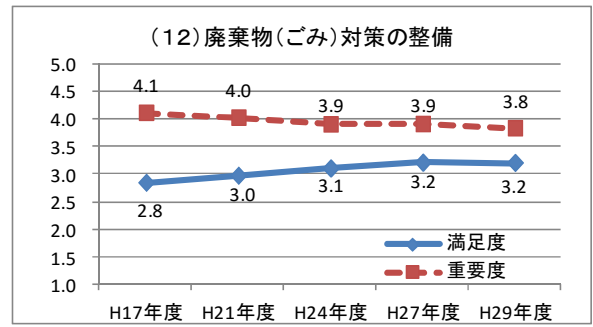
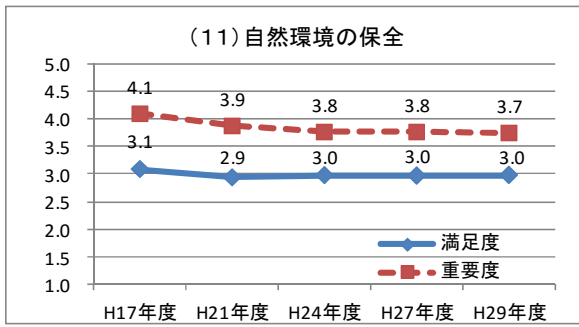
満足度 =	$\frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$
重要度 =	$\frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$

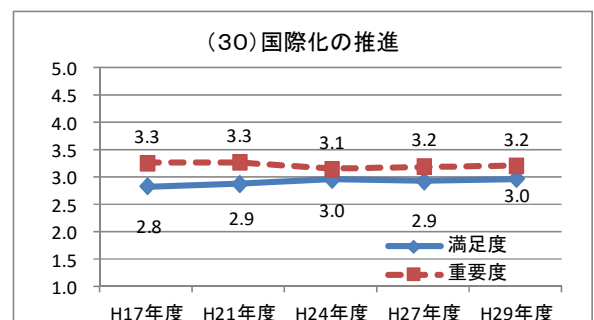
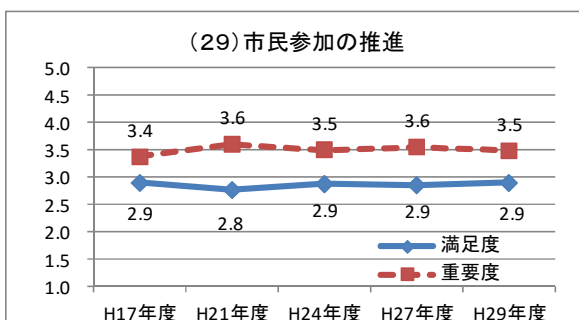
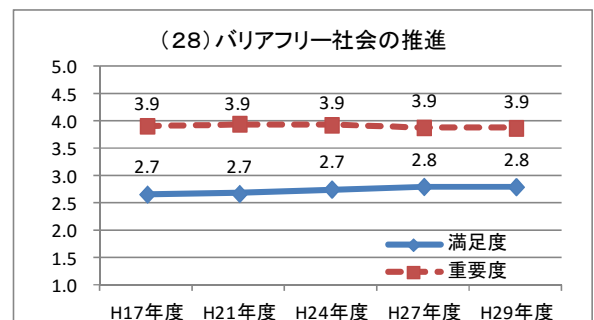
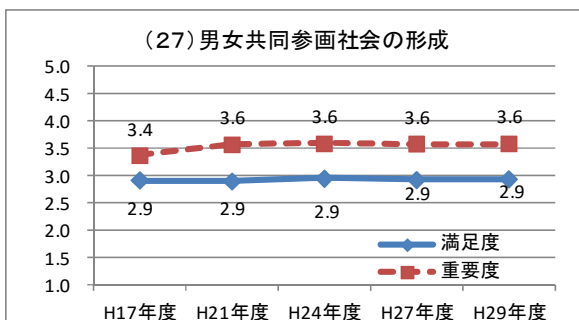
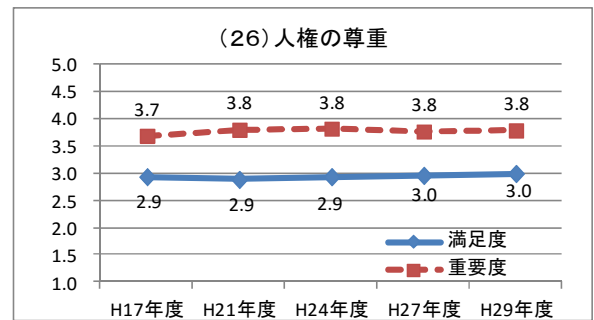
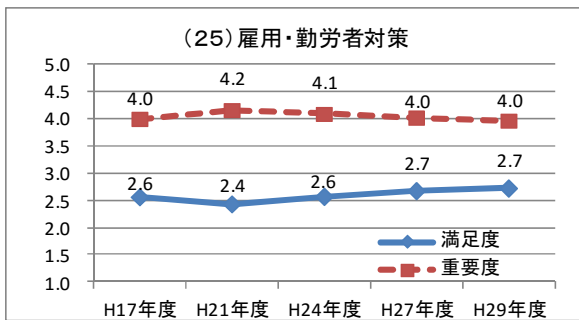
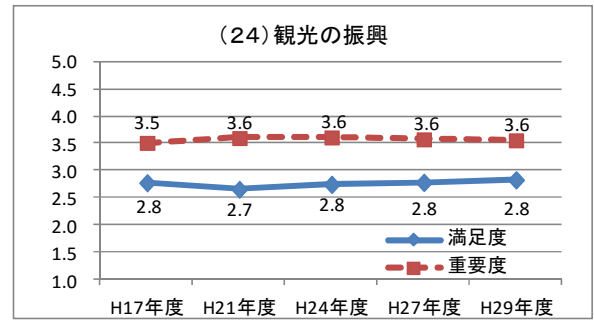
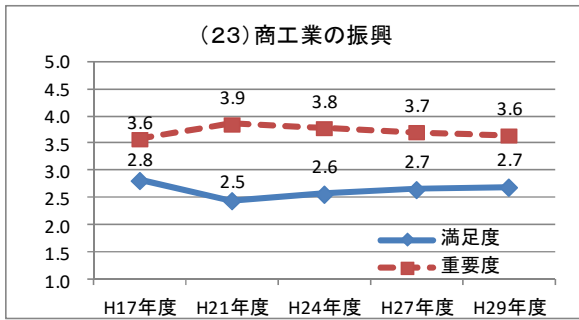
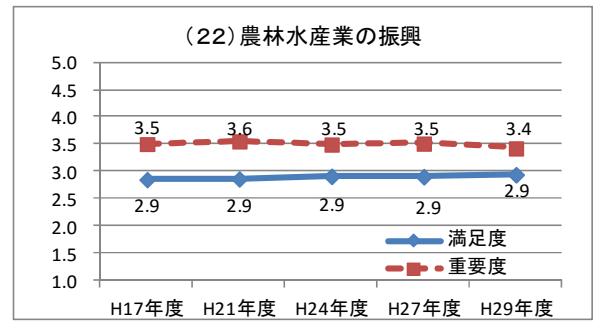
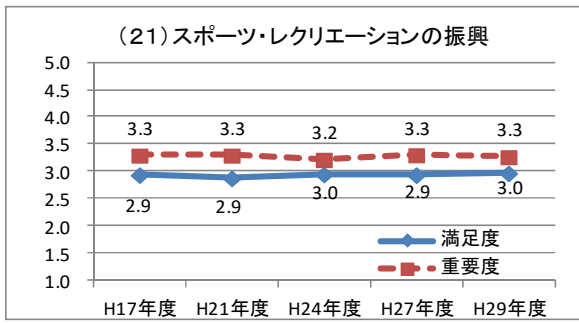
前回と比較すると、満足度では32項目中26項目が上昇、3項目が横ばい、3項目が下降となり、平均では横ばいとなっている。

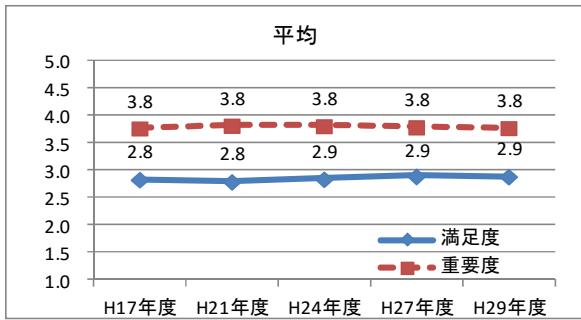
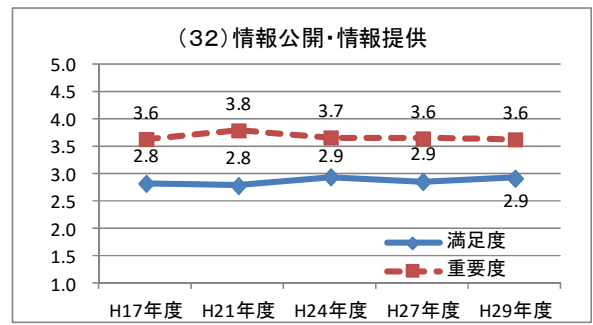
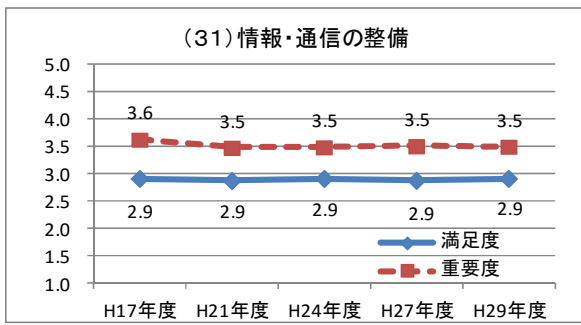
重要度をみると、32項目中6項目が上昇、2項目が横ばい、24項目が下降となり、平均では下降となっている。

項目番号	施策	満足度						重要度											
		H17年度	H21年度	H24年度	H27年度	H29年度	H17年度	H21年度	H24年度	H27年度	H29年度								
1	防災対策の整備	2.57	↗	2.70	↘	2.61	↗	2.72	↗	2.78	4.31	↗	4.33	↗	4.49	↘	4.38	↗	4.42
2	交通安全対策の整備	2.60	↘	2.50	↘	2.47	→	2.47	↗	2.53	4.19	↗	4.28	↗	4.35	↘	4.31	↘	4.29
3	防犯対策の整備	2.55	↘	2.78	↘	2.74	↗	2.91	↗	2.95	4.29	↗	4.36	↗	4.38	↘	4.31	↘	4.28
4	市街地・拠点等の整備	2.80	↘	2.39	↗	2.42	↗	2.49	↗	2.56	3.56	↗	3.76	↘	3.72	↗	3.74	↘	3.63
5	道路・港湾等の整備	2.75	↗	2.79	↘	2.40	↗	2.56	↗	2.61	3.91	↗	3.97	↗	4.37	↘	4.21	↗	4.24
6	公共交通の整備	2.68	↘	2.30	↗	2.37	↘	2.35	↘	2.25	3.87	↘	3.83	↗	3.87	↗	3.90	↗	3.98
7	上水道の整備	3.24	↘	3.37	↗	3.47	↗	3.50	↗	3.54	3.88	↗	4.08	↗	4.14	↗	4.16	↘	4.12
8	下水道の整備	2.68	↗	2.93	↗	2.96	↗	2.97	↗	2.99	4.05	↘	3.95	↗	3.97	↗	4.00	↘	3.98
9	住環境の整備	2.99	↘	2.97	↗	3.00	↘	2.99	↘	2.97	3.72	↘	3.29	→	3.29	↗	3.31	→	3.31
10	公園・緑地の整備	2.90	↘	3.05	↗	3.11	↘	3.03	↘	3.00	3.62	↘	3.49	↘	3.45	↗	3.50	↘	3.48
11	自然環境の保全	3.09	↘	2.94	↗	2.98	↘	2.97	↗	2.98	4.09	↘	3.87	↗	3.76	→	3.76	↘	3.75
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	2.84	↗	2.97	↗	3.10	↗	3.20	→	3.20	4.11	↘	4.02	↘	3.90	→	3.90	↘	3.83
13	健康づくりの推進	-	2.88	↗	2.97	→	2.97	↗	3.00	-	3.65	↘	3.62	↗	3.62	↗	3.65	↘	3.63
14	保健・医療の推進	3.01	↘	2.83	↗	2.99	↗	3.03	↗	3.07	4.08	↗	4.37	↘	4.29	→	4.29	↘	4.26
15	高齢者福祉の推進	2.87	→	2.87	↗	2.94	→	2.94	→	2.94	4.00	↗	4.04	↘	4.00	↘	3.98	↘	3.97
16	障がい者福祉の推進	2.83	↘	2.76	↗	2.80	↗	2.82	↗	2.85	3.92	↗	4.04	→	4.04	↘	3.98	↘	3.97
17	児童・家庭福祉の推進	2.86	↘	2.79	↗	2.89	↗	2.91	↗	2.94	3.85	↗	4.13	↗	4.16	↘	4.11	↘	4.07
18	学校教育等の充実	2.88	↘	2.87	↗	2.93	→	2.93	↗	2.95	4.10	↗	4.17	↗	4.18	→	4.18	↘	4.13
19	生涯学習の推進	2.96	↘	2.85	↗	2.93	↗	2.91	↗	2.94	3.46	↗	3.60	↗	3.61	↘	3.58	↗	3.65
20	文化活動の推進	2.96	↗	3.00	↗	3.01	→	3.01	↗	3.06	3.43	↘	3.34	↘	3.31	↗	3.33	↘	3.30
21	スポーツ・レクリエーションの振興	2.94	↘	2.88	↗	2.95	↘	2.94	↗	2.97	3.30	→	3.30	↘	3.22	↗	3.30	↘	3.27
22	農林水産業の振興	2.86	↘	2.87	↗	2.92	↘	2.91	↗	2.95	3.51	↗	3.56	↘	3.50	↗	3.52	↘	3.43
23	商工業の振興	2.82	↘	2.45	↗	2.57	↗	2.65	↗	2.70	3.58	↗	3.85	↘	3.78	↘	3.71	↘	3.65
24	観光の振興	2.78	↘	2.66	↗	2.75	↗	2.79	↗	2.83	3.51	↗	3.60	↗	3.61	↘	3.58	↘	3.56
25	雇用・勤労者対策	2.56	↘	2.43	↗	2.57	↗	2.67	↗	2.72	3.99	↗	4.15	↘	4.08	↘	4.01	↘	3.96
26	人権の尊重	2.93	↘	2.88	↗	2.93	↗	2.95	↗	2.99	3.68	↗	3.79	↗	3.81	↘	3.76	↗	3.78
27	男女共同参画社会の形成	2.91	↘	2.89	↗	2.94	↘	2.91	↗	2.93	3.36	↗	3.56	↗	3.58	→	3.58	→	3.58
28	バリアフリー社会の推進	2.65	↗	2.66	↗	2.74	↗	2.79	→	2.79	3.90	↗	3.94	↘	3.92	↘	3.87	↘	3.86
29	市民参加の推進	2.89	↘	2.76	↗	2.87	↘	2.85	↗	2.89	3.37	↗	3.60	↘	3.50	↗	3.55	↘	3.48
30	国際化の推進	2.83	↗	2.87	↗	2.95	↘	2.92	↗	2.97	3.25	↗	3.27	↘	3.14	↗	3.19	↗	3.20
31	情報・通信の整備	2.91	↘	2.87	↗	2.91	↘	2.88	↗	2.91	3.62	↘	3.47	↗	3.48	↗	3.50	↘	3.49
32	情報公開・情報提供	2.82	↘	2.78	↗	2.94	↘	2.85	↗	2.91	3.63	↗	3.79	↘	3.66	↘	3.64	↘	3.62
平均		2.84	↘	2.80	↗	2.85	↗	2.90	→	2.90	3.78	↗	3.83	↘	3.82	↘	3.80	↘	3.79





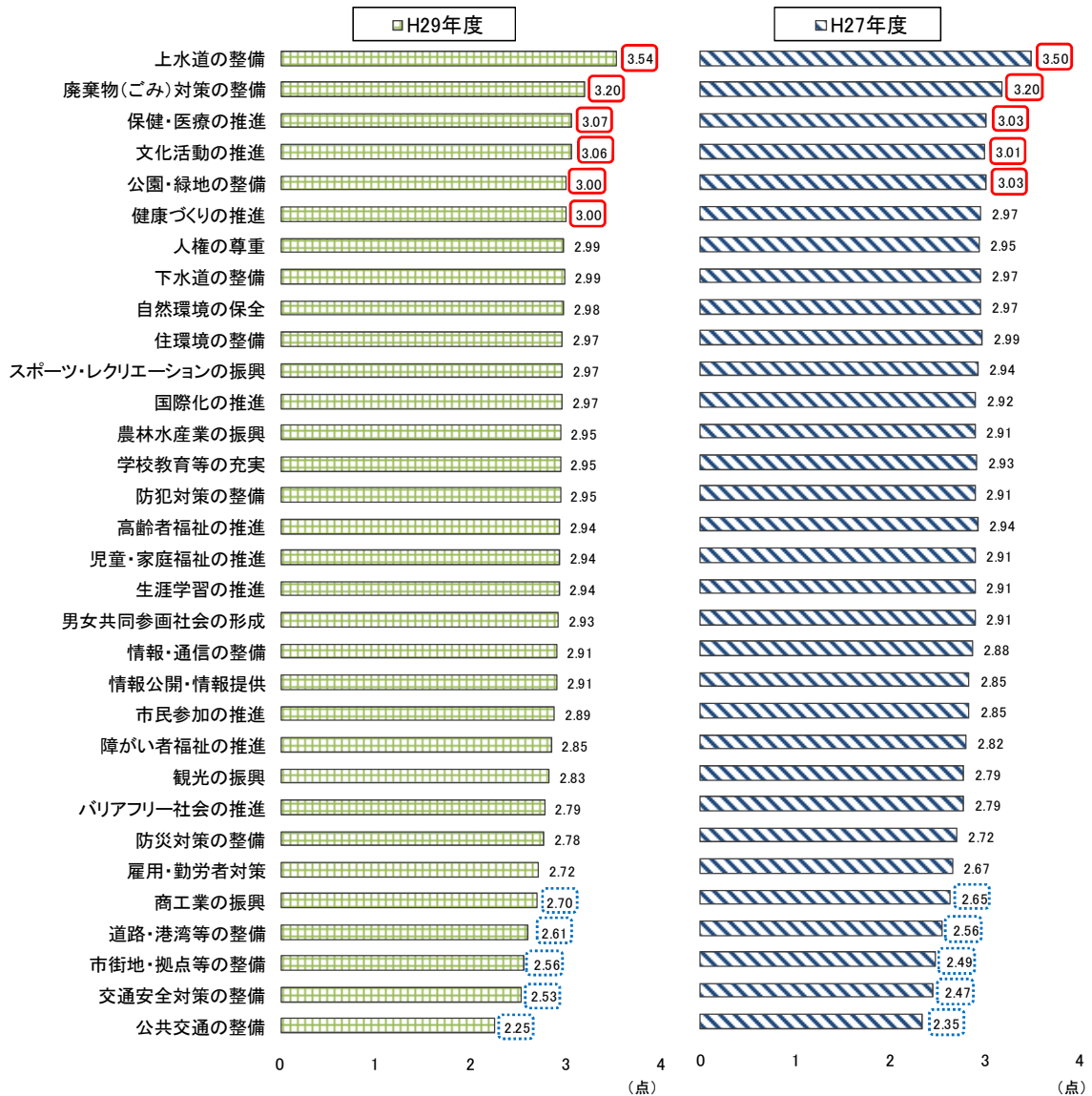




満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内□、評価得点が低い下位5項目は青枠線内□となっている。

上位5項目は前回と同様の項目となっているが、「文化活動の推進」と「公園・緑地の整備」の順位が入れ替わっているほか、前回上位5項目に入っていなかった「健康づくりの推進」が入っている。一方で下位5項目は順位も含め前回と同様となっている。

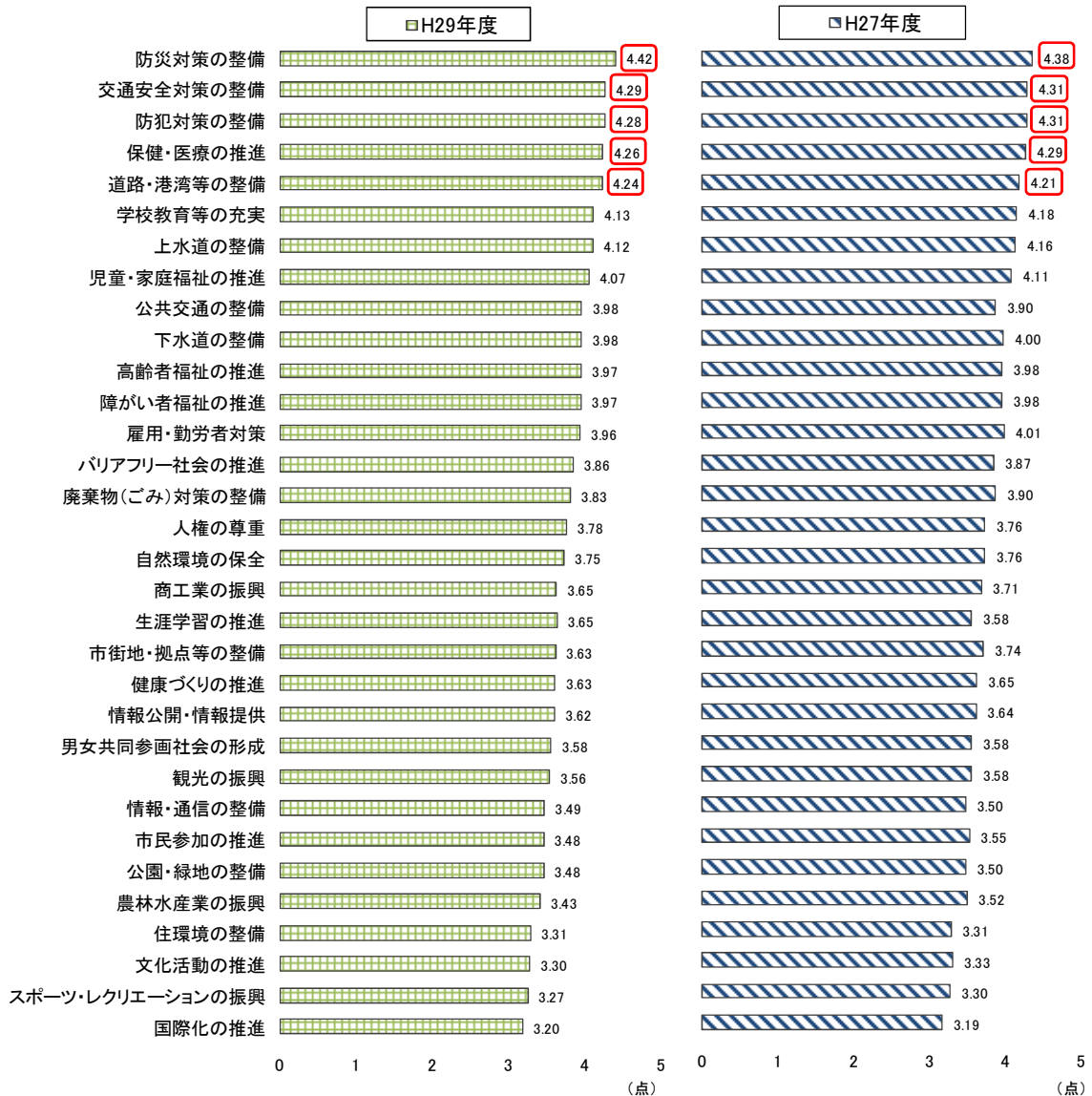
問11 松阪市の政策に対する満足度



重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 となっている。

上位5項目は順位も含め、前回と同様となっている。また、「公共交通の整備」が順位を上げた一方で、「雇用・勤労者対策」が順位を下げている。

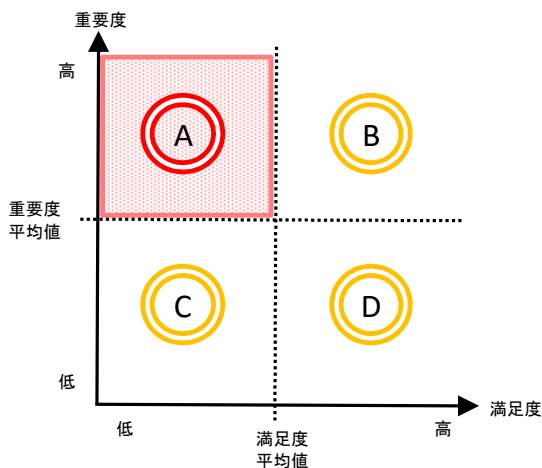
問11 松阪市の政策に対する重要度



32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析します。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができます。

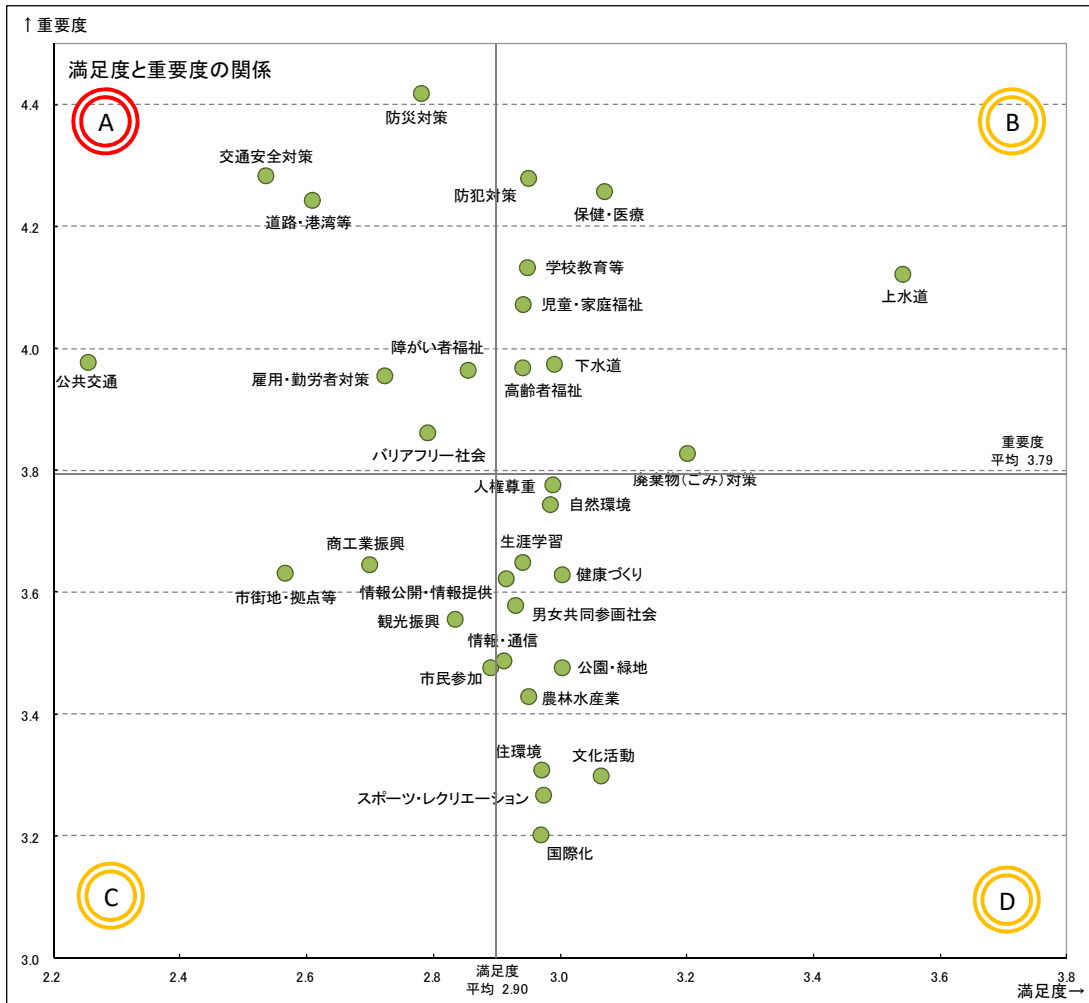
最重点項目の判定基準

- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

《施策項目に対する考え方》

分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ **最重点項目（優先すべき施策）**
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ **これまで通り継続して実施すべき施策**
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ **施策内容等を見直し、検討を要する施策**
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ **これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策**



以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりです。

<p>最重点項目（市民が優先して求めている施策）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防災対策の整備 <input type="radio"/> 交通安全対策の整備 <input type="radio"/> 道路・港湾等の整備 <input type="radio"/> 雇用・勤労者対策 <input type="radio"/> 障がい者福祉の推進 <input type="radio"/> 公共交通の整備 <input type="radio"/> パリアフリー社会の推進 		
<p>これまで通り継続して実施すべき施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防犯対策の整備 <input type="radio"/> 保健・医療の推進 <input type="radio"/> 学校教育等の充実 <input type="radio"/> 上水道の整備 <input type="radio"/> 児童・家庭福祉の推進 <input type="radio"/> 下水道の整備 <input type="radio"/> 高齢者福祉の推進 <input type="radio"/> 廃棄物（ごみ）対策の整備 		
<p>施策内容等を見直し、検討を要する施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 市街地・拠点等の整備 <input type="radio"/> 商工業の振興 <input type="radio"/> 市民参加の推進 <input type="radio"/> 観光の振興 		
<p>これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 自然環境の保全 <input type="radio"/> 人権の尊重 <input type="radio"/> 健康づくりの推進 <input type="radio"/> 男女共同参画社会の形成 <input type="radio"/> 生涯学習の推進 <input type="radio"/> 農林水産業の振興 <input type="radio"/> 公園・緑地の整備 <input type="radio"/> 文化活動の推進 <input type="radio"/> 住環境の整備 <input type="radio"/> スポーツ・レクリエーションの振興 <input type="radio"/> 国際化の推進 <input type="radio"/> 情報公開・情報提供 <input type="radio"/> 情報・通信 		

最重点項目について前回と比べると以下の通りとなる。

7つの重点項目をみると、4つのパターンに分かれる。

①『満足度が上昇』かつ『重要度が下降』

「交通安全対策の整備」「雇用・勤労者対策」「障がい者福祉の推進」があげられる。

②『満足度が上昇』かつ『重要度が上昇』

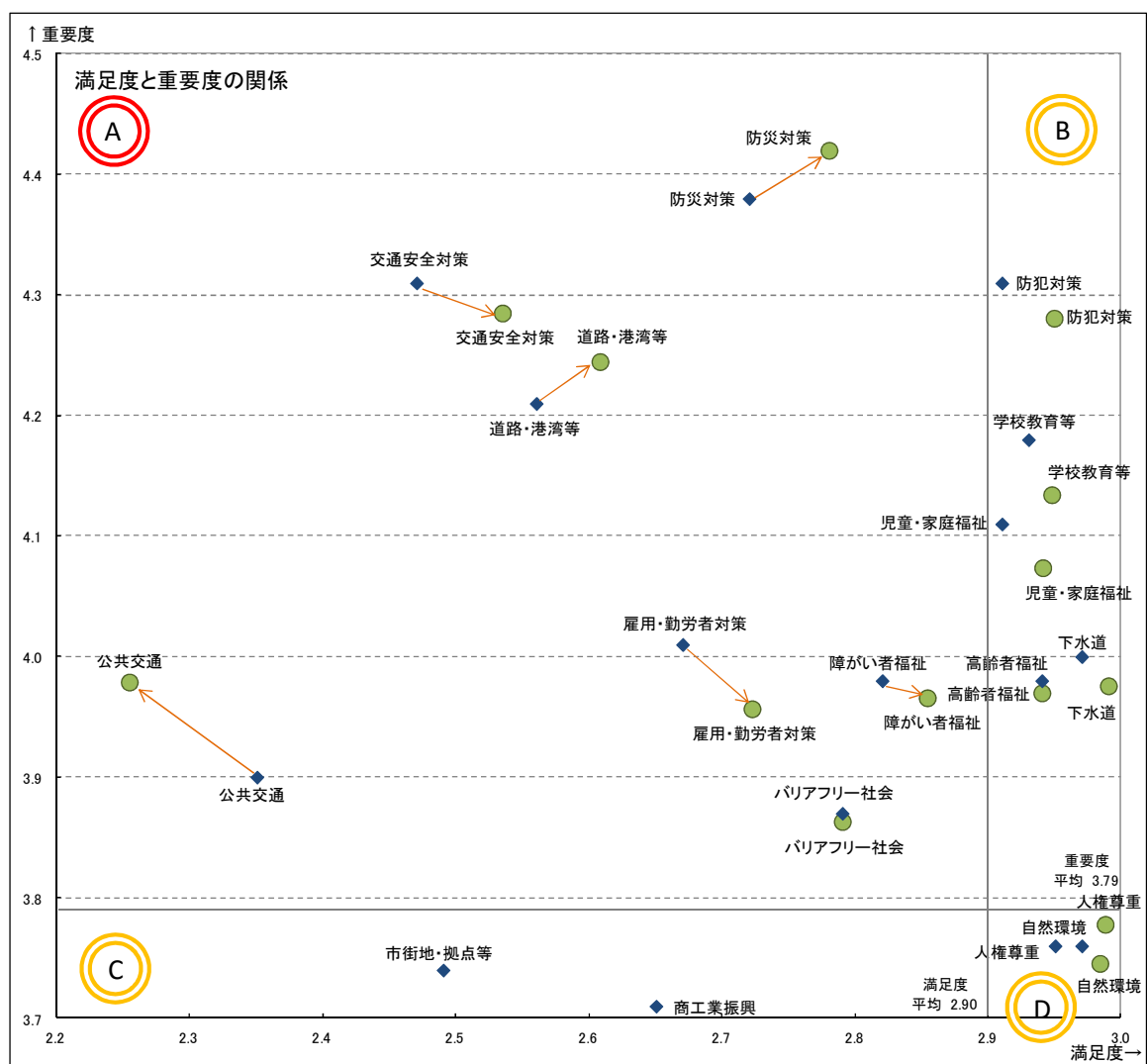
「防災対策の整備」「道路・港湾等の整備」があげられる。

③『満足度が下降』かつ『重要度が上昇』

「公共交通の整備」があげられる。

④『満足度がよこばい』かつ『重要度が下降』

「バリアフリー社会の推進」があげられる。



※◆前回調査（平成27年度） ●平成29年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

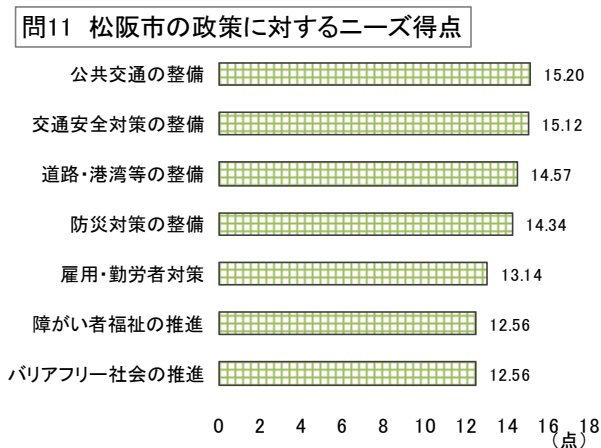
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

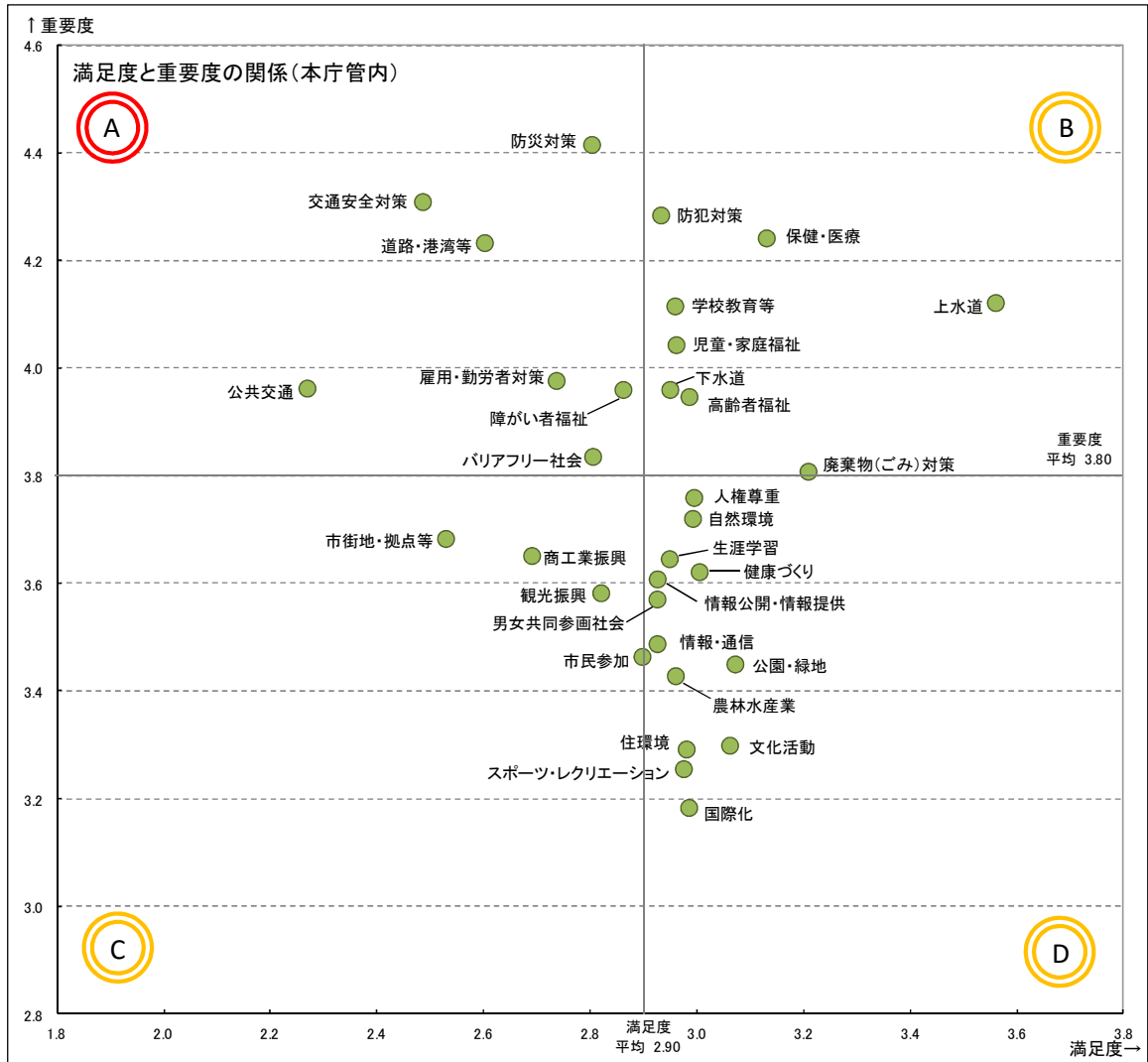
$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数(満足度と重要度の両方を回答された数)}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「公共交通の整備」「交通安全対策の整備」「道路・港湾等の整備」のニーズ得点が高くなっている。



ここで、居住地域別に 32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《本庁管内》



- 最重点項目（本庁管内の市民が優先して求めている施策）
- 防災対策の整備
 - 交通安全対策の整備
 - 道路・港湾等の整備
 - 雇用・勤労者対策
 - 障がい者福祉の推進
 - 公共交通の整備
 - バリアフリー社会の推進

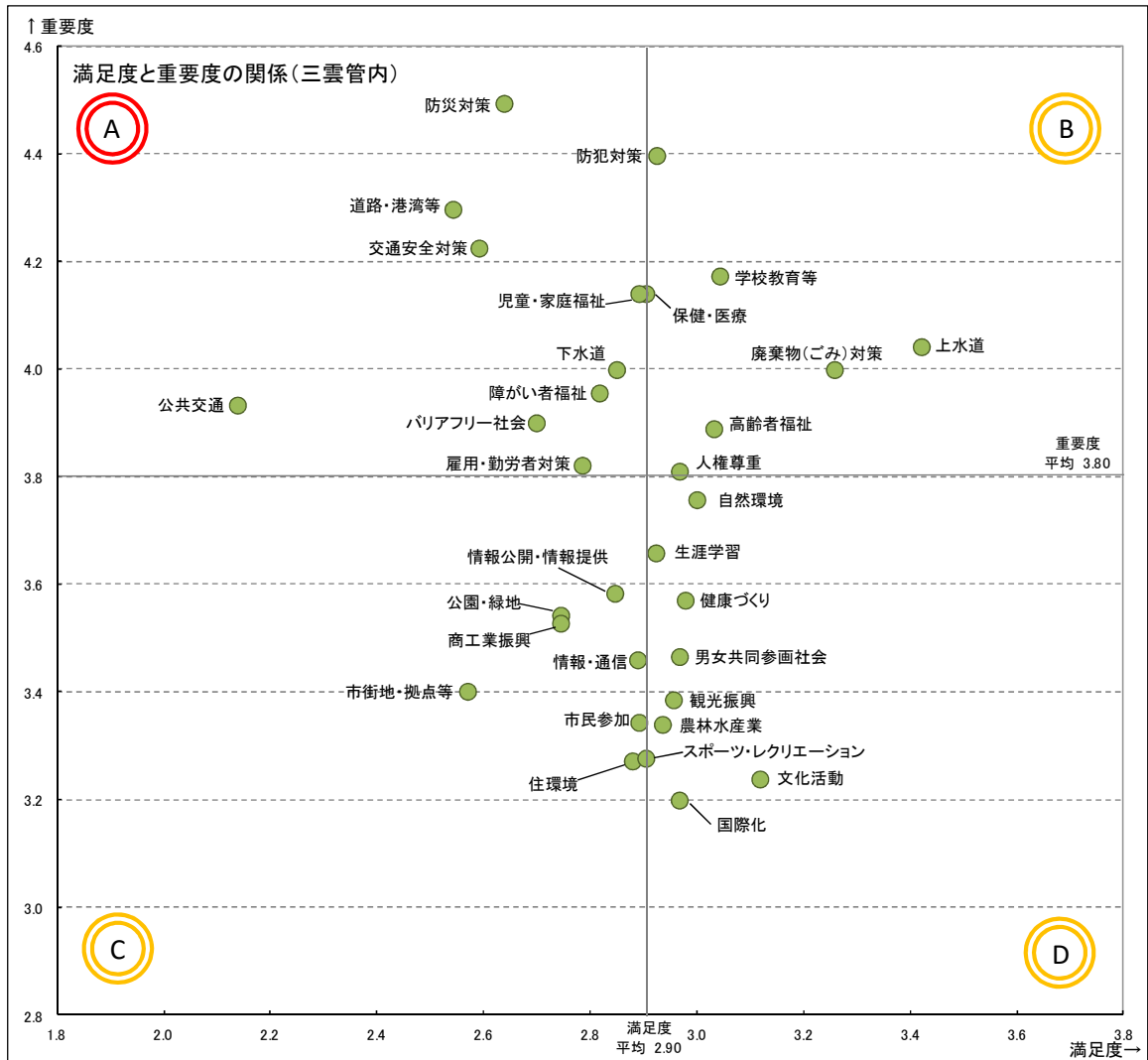
《 嬉野管内 》



最重点項目（嬉野管内の市民が優先して求めている施策）

- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進
- バリアフリー社会の推進
- 公共交通の整備

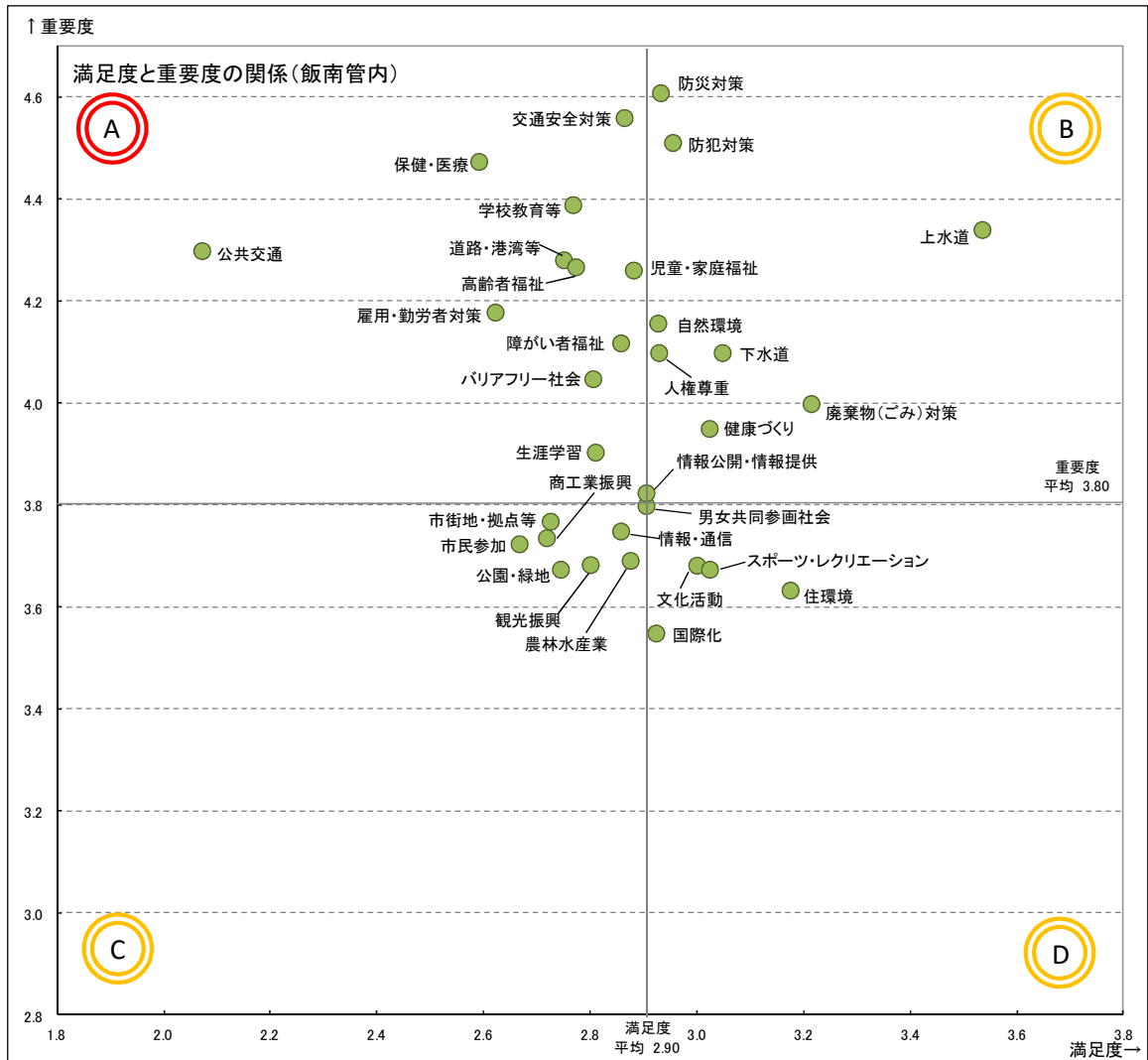
《三雲管内》



最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)

- 防災対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 交通安全対策の整備
- 下水道の整備
- 児童・家庭福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- 障がい者福祉の推進
- 公共交通の整備
- バリアフリー社会の推進
- 保健・医療の推進

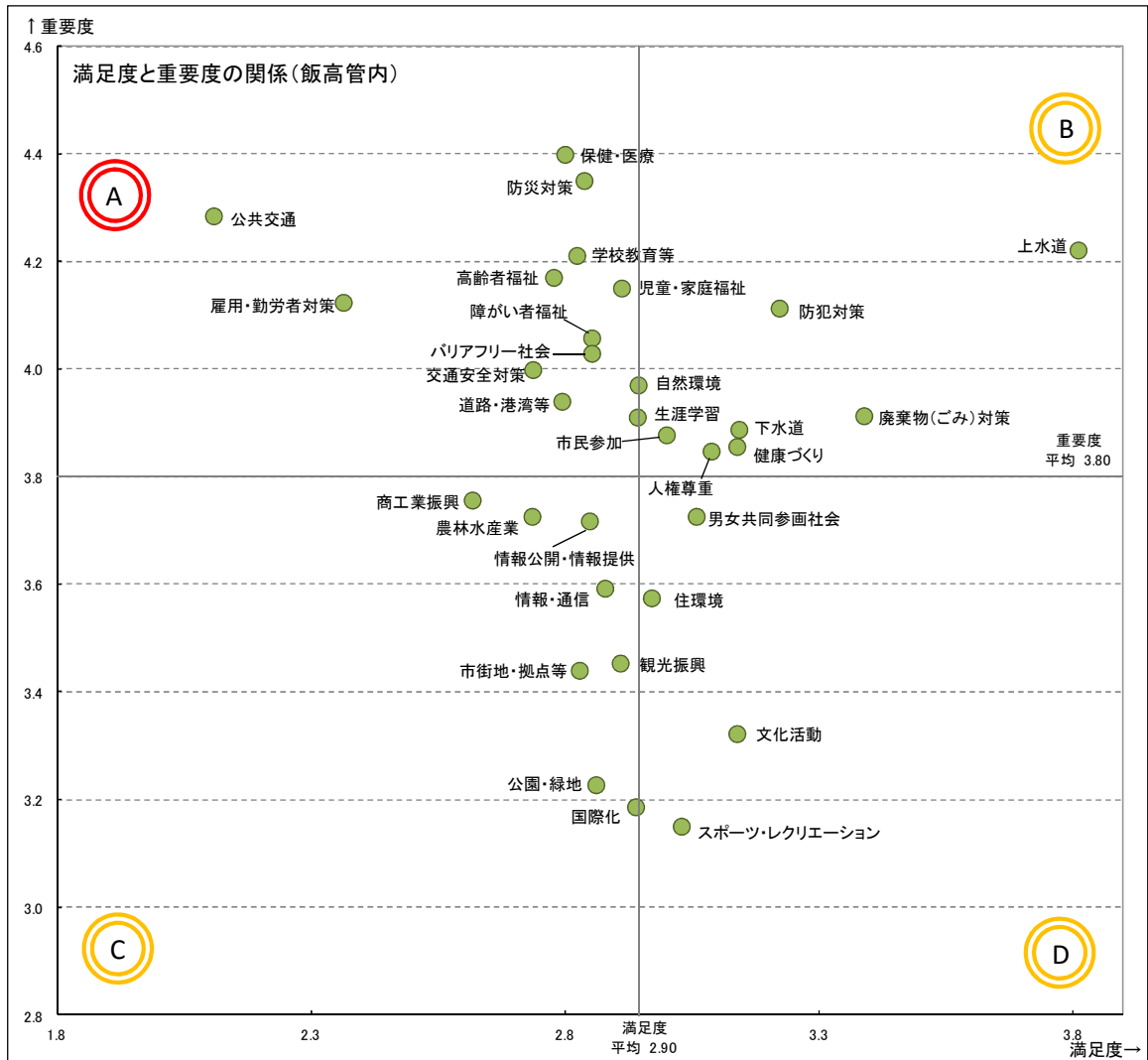
《飯南管内》



最重点項目 (飯南管内の市民が優先して求めている施策)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ○ バリアフリー社会の推進 | ○ 交通安全対策の整備 | ○ 保健・医療の推進 |
| ○ 児童・家庭福祉の推進 | ○ 雇用・勤労者対策 | ○ 道路・港湾等の整備 |
| ○ 公共交通の整備 | ○ 障がい者福祉の推進 | ○ 高齢者福祉の推進 |
| ○ 学校教育等の充実 | ○ 生涯学習の推進 | |

《飯高管内》



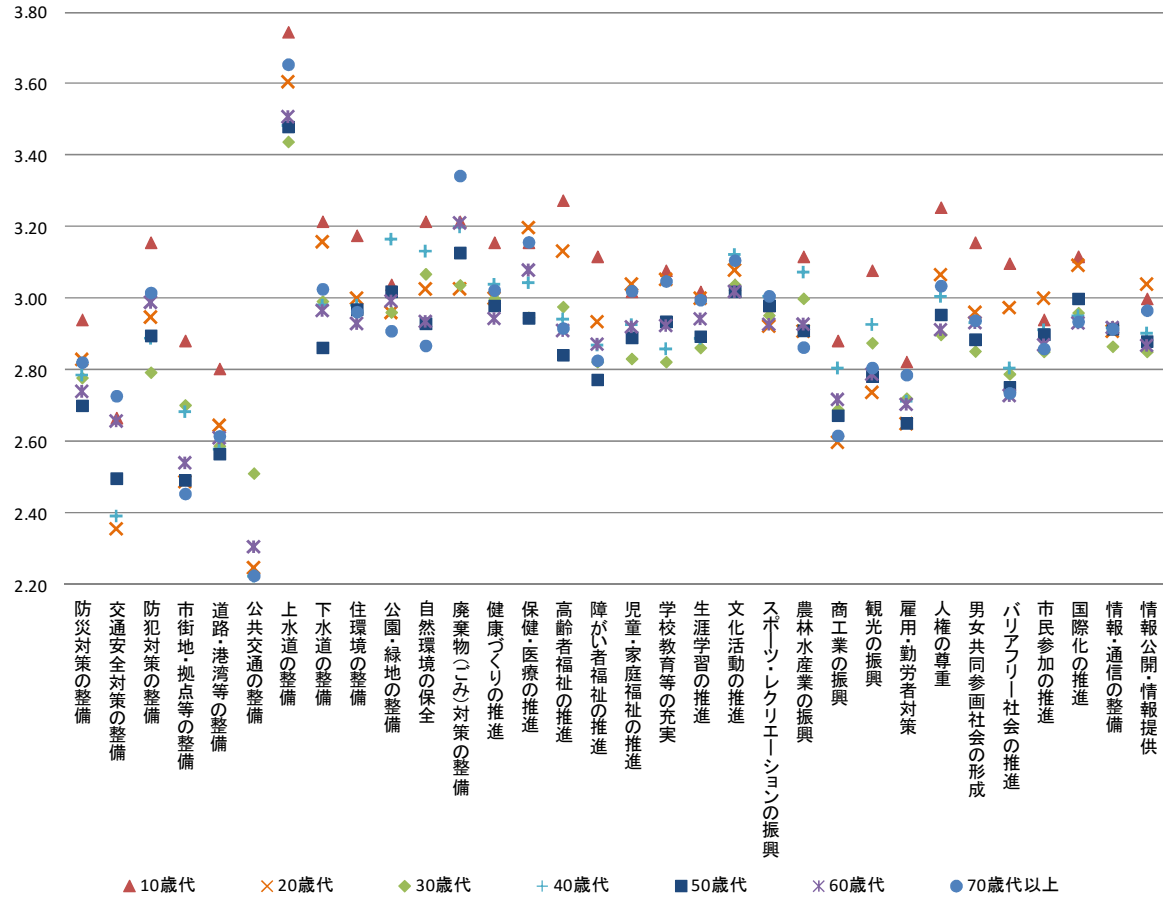
最重点項目 (飯高管内の市民が優先して求めている施策)

- 公共交通の整備
- 保健・医療の推進
- 高齢者福祉の推進
- バリアフリー社会の推進
- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 障がい者福祉の推進
- 児童・家庭福祉の推進
- 道路・港湾等の整備
- 雇用・勤労者対策
- 学校教育等の充実

ここで、年代別に 32 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

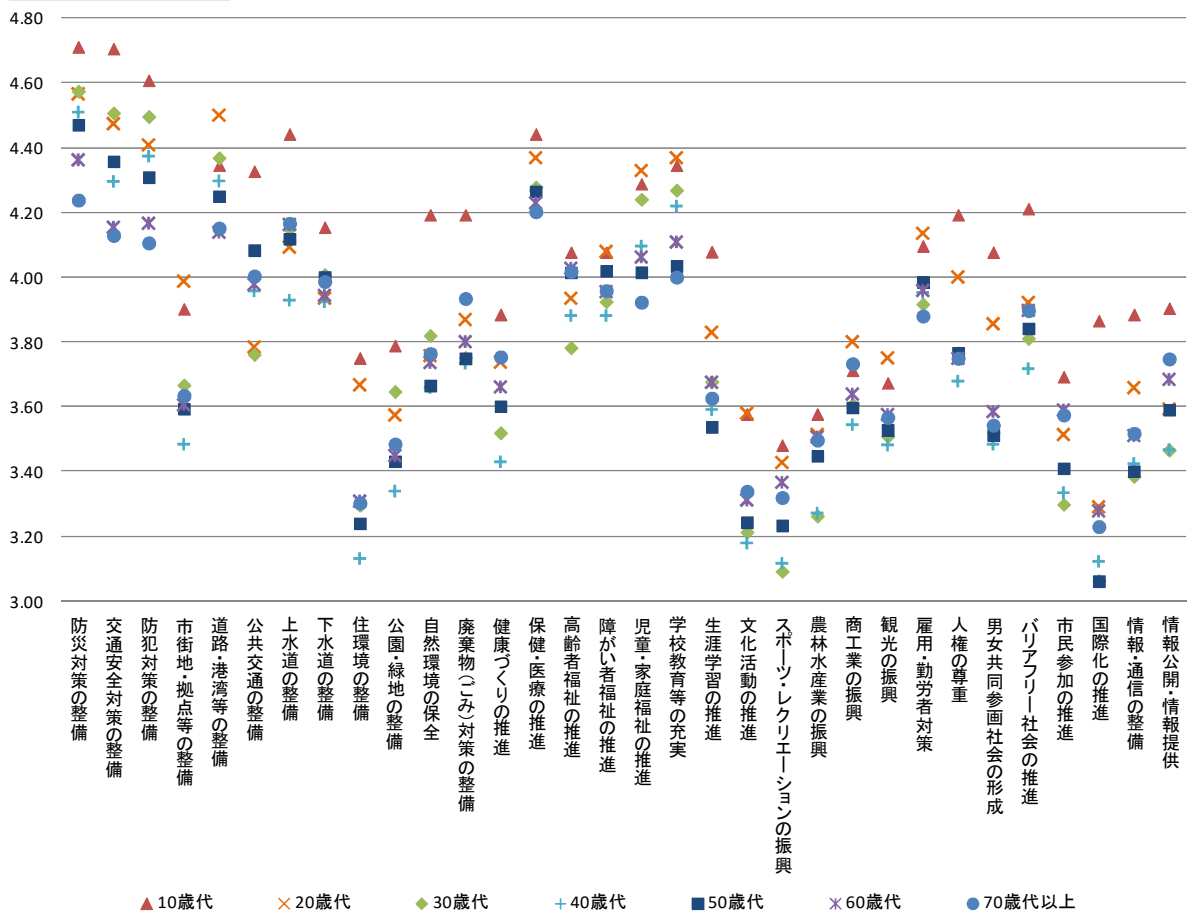
《年代別 満足度》

問11 年代別 満足度



《年代別 重要度》

問11 年代別 重要度

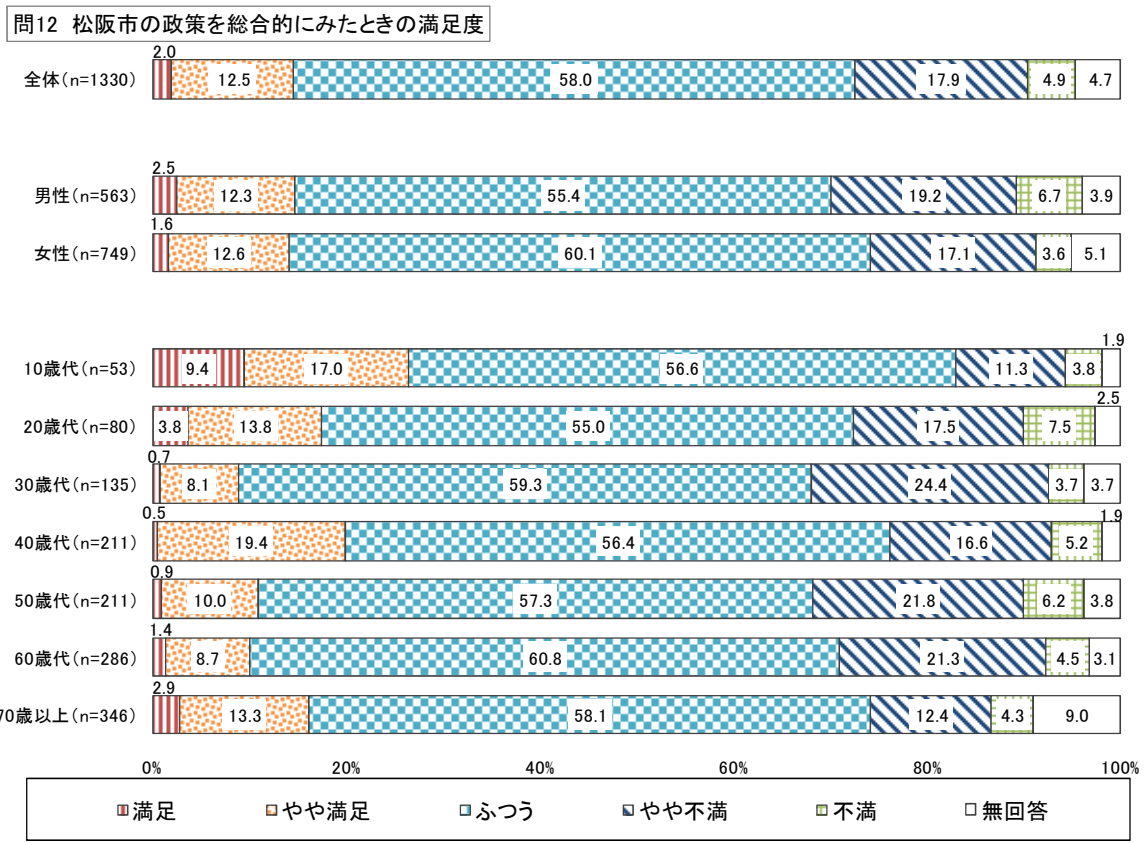


問12 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

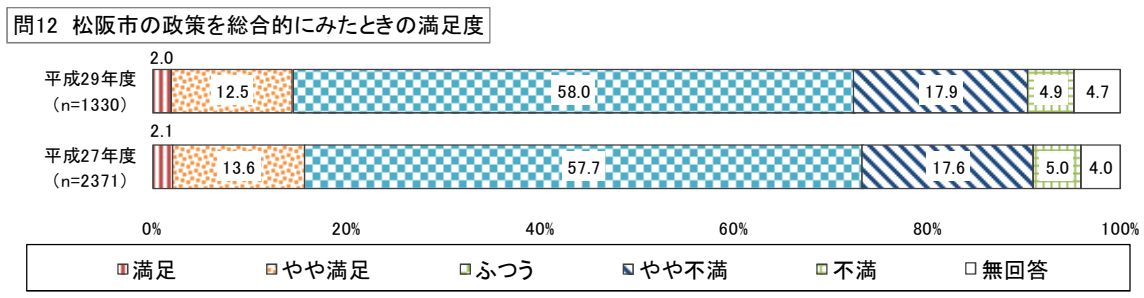
「ふつう」が58.0%と最も高く、ついで「やや不満」が17.9%、「やや満足」が12.5%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「不満」「やや不満」としている割合が5ポイント程度高くなっている。

年代別にみると、10歳代では「満足」「やや満足」の合計の割合が比較的高く、26.4%となっている。一方で30歳代と50歳代では「不満」「やや不満」の割合が高く、3割弱となっている。



前回と比較すると、「やや満足」が若干減少しているが、その他は概ね前回と同様の割合となっている。



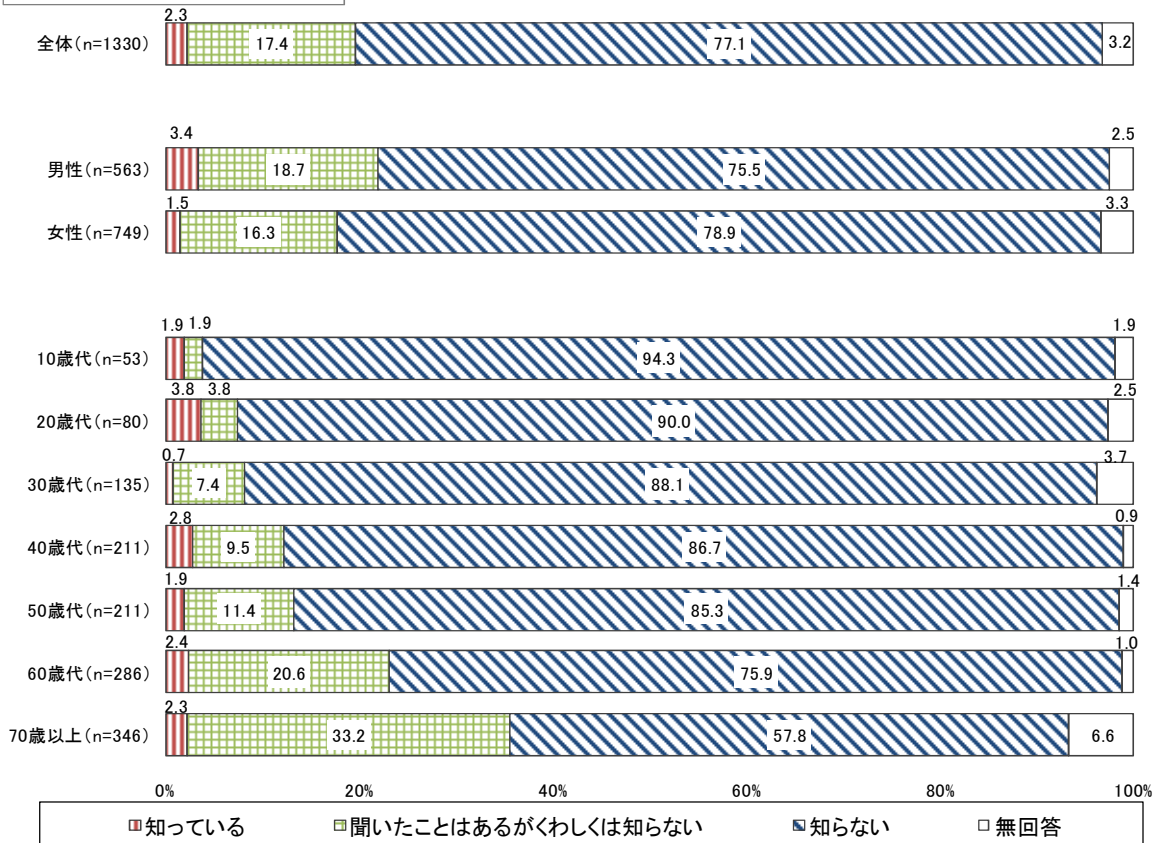
問 13 あなたは松阪市の総合計画「住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪」を知っていますか。（○は1つだけ）

「知らない」が77.1%と最も高く、ついで「聞いたことはあるがくわしくは知らない」が17.4%、「知っている」が2.3%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「知っている」「聞いたことはあるがくわしくは知らない」の割合がやや高くなっている。

年代別にみると、「知らない」の割合が、年代が上がるごとに減少している。

問13 松阪市の総合計画の認知度



前回と比較すると、「知っている」「聞いたことはあるがくわしくは知らない」のいずれも減少している。

問13 松阪市の総合計画の認知度

